

ONLY 1

オンリーワン企業紹介

遊びを通して
感性を磨く

のはらむら

子どもと、かつて子どもだった大人にも、豊かな感性と生きる力をはぐくむ「あそび」を。「のはらむら」には、選び抜かれた国内外のおもちゃやアナログゲームが並ぶ。

本物のおもちゃの魅力を広めたい

おもちゃと遊びの専門店「のはらむら」には、大小さまざま、色とりどりのたくさんのおもちゃが並ぶ。「目で追う、口に入れる、つまむ、音を出す。おもちゃは子どもの発達に大きな役割を持っています」と話すのは、20年間の幼稚園教諭経験を持つ、代表の工藤留美さんだ。

アニメやキャラクターが描かれたおもちゃが大型店にあふれる中、工藤さんは教育者として、また親として、自らのフィルターを通して選んだ国内外の良質なおも

ちゃを手に入れながら、子どもたちの教育に携わってきた。

「子どもの発達を考えてつく



られた、何十年もデザインが変わらないおもちゃがヨーロッパにはたくさんあります。そんな本物のおもちゃを扱っているお店が秋田にはなかった。ちょうど幼稚園教諭としてはやりきったと感じていた頃に、脚本家の内館牧子さんが50歳で大学院に入学し、学び直した話を聞きました。新しいことをやるには年齢は関係ない。できないと死ねない!そう思い立ち、2014年にこのお店をオープンしました。」

心を動かす保育環境を

工藤さんはオープン以来、子ども、大人を問わず“より豊かに遊びたいすべての人”に向けて、おもちゃの遊び方講座、アナログゲーム会、ものづくりに関わっている人たちとのワークショップといった遊びの空間を積極的に作り出してきた。イベントが実施できなかったこの一年を経験して、「遊びを通して喜んでもらっている姿を直接見たい」という自分の気持ちにあらためて気づいたという。

「今、メディアの影響でアナログゲームの需要が伸びているんです。幼児からおじいちゃんまで、みんなで楽しめることが魅力です。ワークショップは、作品づくりを通してプロの力や仕事を知り、自分もやってみたい!というきっかけや、目覚めていない好奇心の刺激になれば、と考えています」。

また、園や子育て支援施設、店舗の“遊び場”の企画や改善、保育現場での指導や講演など、遊びと幼児教育の専門家として活動の場をさらに広げている。「大切なのは大人も一緒に感性を磨き、その遊びによって何を伝えたいのかを考えながら、本気でおもちゃ選びや遊びに取り組むことです。豊かな遊びのある暮らしと、幼児教育や保育環境の質を高める手助けとなる提案をしながら、昔の駄菓子屋さんのような、より気軽に楽しいおもちゃ屋さんになるのが夢です」。



代表
工藤 留美
Rumi Kudo

のはらむら

〒010-0815
秋田県秋田市泉馬場6-12
TEL. 018-868-4473
<https://noharamura.com>

会社概要

おもちゃの販売、保育環境の提案

